

夏のレジャーとしての〈映画鑑賞〉の予定と自粛度 今後の注目作は『呪術廻戦』『007』『ワイルド・スピード』

〈コロナ禍におけるレジャーや映画館での映画鑑賞に対する意識〉

エンタテインメント業界に向けたマーケティングデータ分析及びデジタルマーケティングサービスを提供している GEM Partners 株式会社（ジェムパートナーズ、所在地：東京都港区、代表取締役：梅津文）は6月26日～28日、新型コロナウイルス流行下でのエンタテインメント消費行動に関する調査「新型コロナウイルスの影響トラッキング調査レポート」の第11回（回答者数4,126人）を実施いたしました。今回はその中から、レジャーや映画館での映画鑑賞に関する結果をご報告します。

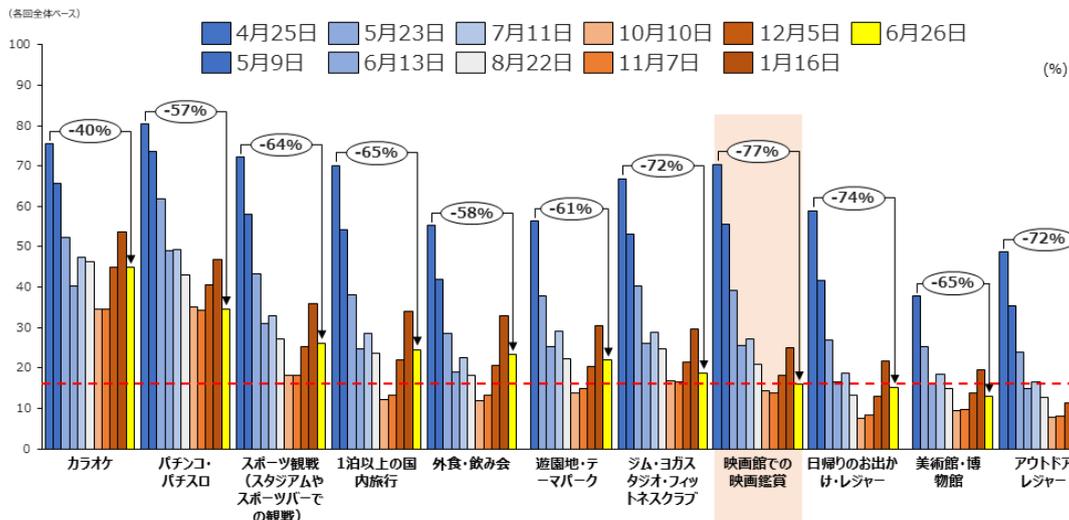
【調査ハイライト】

- 映画鑑賞をはじめ、様々なレジャー活動に対する「絶対に自粛した方がよい」という意識は、2度目の緊急事態宣言が発出された今年の1月よりは低下し、昨年の夏・秋の水準になっている。「映画館での感染リスクは少ない」という意識も1月から上昇している。
- 映画館の自粛意識が高いのは、シニア層。ワクチン接種が進むなか、今後の変化が注目される。
- こうしたなか、一般生活者がこの夏にやろうと思っているレジャー活動は、「テレビ等でのオリンピック中継の鑑賞」が23%で最も高い。これに「外食・飲み会」「県内でのお墓参り」に加えて「映画館での映画鑑賞」が続く。
- 今後（調査時点）の夏公開作品で鑑賞意欲度が高いのは、洋画では『ワイルド・スピード/ジェットブレイク』、邦画では『東京リベンジャーズ』『僕のヒーローアカデミア THE MOVIE ワールド ヒーローズ ミッション』。

- 映画鑑賞をはじめ、様々なレジャー活動に対する「絶対に自粛した方がよい」という意識は、2度目の緊急事態宣言が発出された今年の1月よりは低下し、昨年夏・秋の水準になっている。

コロナ流行を受けての自粛の必要性：「絶対に自粛した方がよい」推移

*6/26実施 第11回調査データ降順 *「遊園地・テーマパーク」「美術館・博物館」は 第2回から聴取



出典：新型コロナウイルスの影響トラッキング調査レポート（第11回調査 2021年6月26日）

GEM Partners

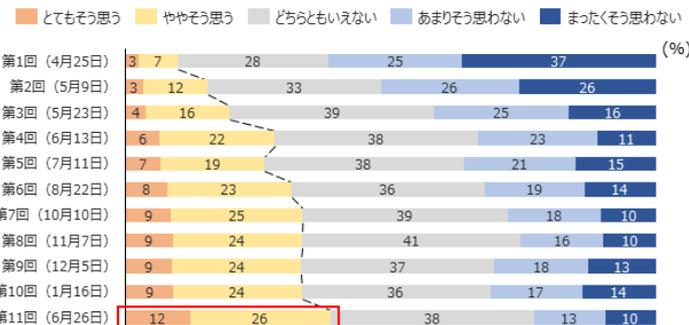
「カラオケ」は依然として自粛意識が高く、今回（6月26日）の調査では4割強の人が「絶対に自粛すべき」と答えている。「映画館での映画鑑賞」は、最初の緊急事態宣言発令後（2020年4月25日）から比較すると、自粛意識が大きく低下したレジャー活動のひとつで、今回の調査で20%を下回った。そのほか、「スポーツ観戦」「1泊以上の国内旅行」「外食・飲み会」に対する自粛意識は25%前後となっている。

- 「映画館での感染リスクは少ない」という意識も1月から上昇している。

映画館の感染リスクに対する意識の推移

(各回全体ベース)

Q.映画館など、人が集まっても声を出さない場合は感染リスクが少ないと思う



出典：新型コロナウイルスの影響トラッキング調査レポート（第11回調査 2021年6月26日）

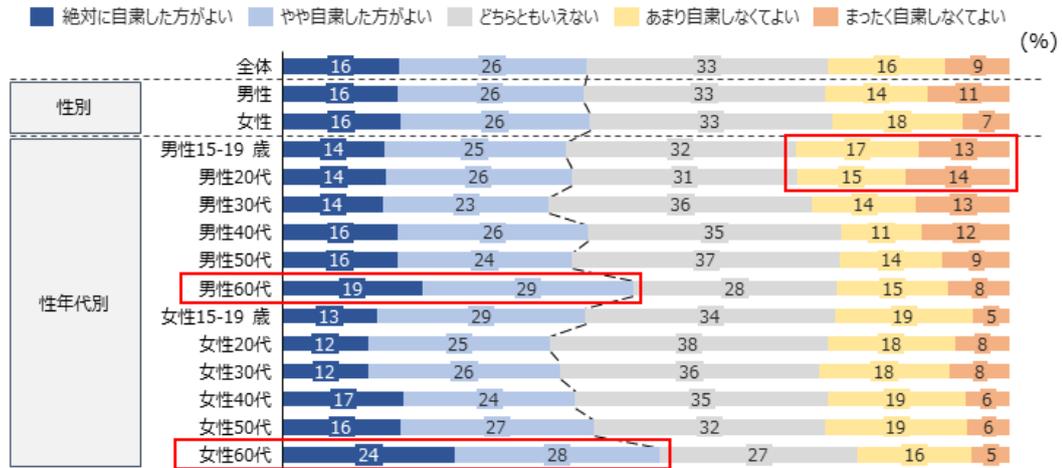
GEM Partners

今回の調査では、「映画館など、人が集まっても声を出さない場合は感染リスクが少ないと思う」に対して、「とてもそう思う」は12%、「ややそう思う」は26%と過去最も高くなった。レジャー活動全般に対する自粛意識は昨年の11月時点よりは高い水準ではあるものの、映画館が危険だという意識は低下が進んでいる。

■ 映画館の自粛意識が高いのは、シニア層。ワクチン接種が進むなか、今後の変化が注目される。

コロナ流行を受けての映画館での映画鑑賞の自粛の必要性

(全体ベース n=4,126)



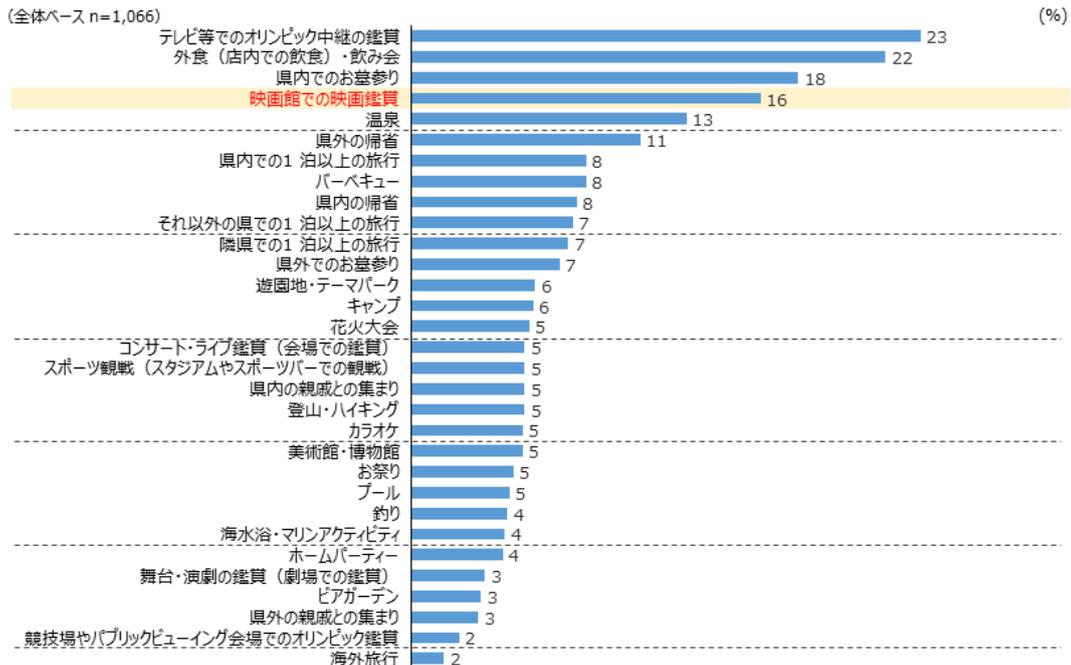
出典：新型コロナウイルスの影響トラッキング調査レポート（第11回調査 2021年6月26日）

GEM Partners

男女とも60代で特に自粛意識が強く、なかでも女性60代は「絶対に自粛した方がよい」が24%、「やや自粛した方がよい」も含めると50%を超える。「自粛しなくてよい」意識が高いのは、男性15-19歳と男性20代となった。

■ こうしたなか、一般生活者がこの夏にやろうと思っているレジャー活動は、「テレビ等でのオリンピック中継の鑑賞」が23%で最も高い。これに「外食・飲み会」「県内でのお墓参り」に加えて「映画館での映画鑑賞」が続く。

夏のレジャーの予定



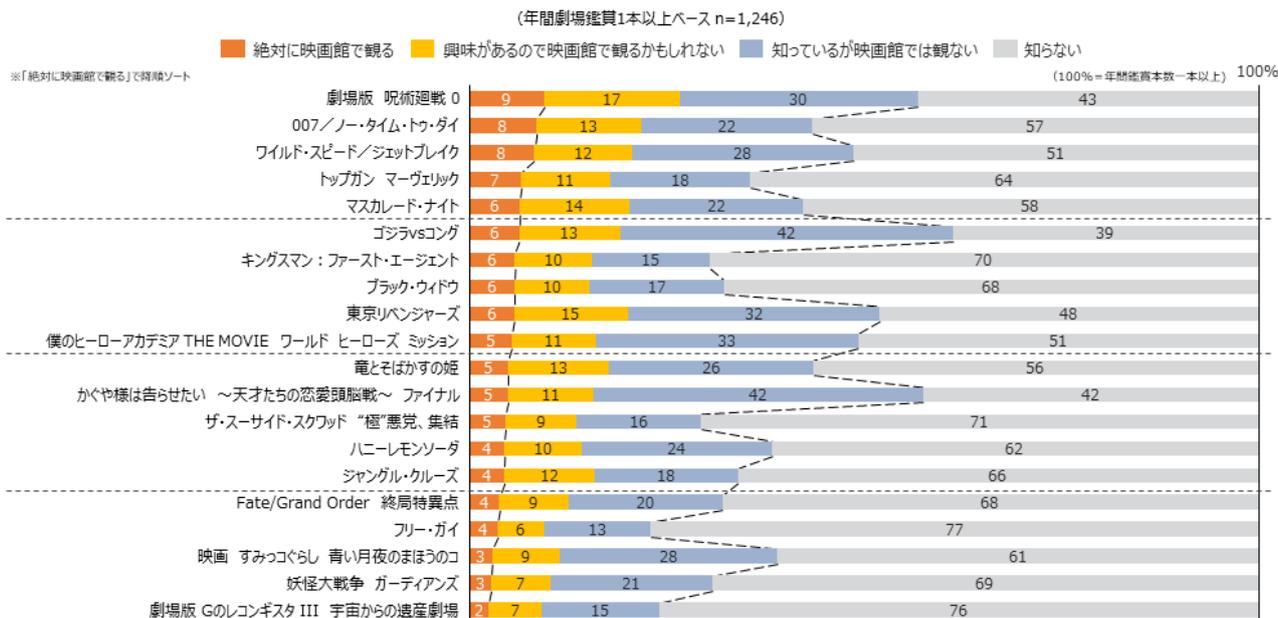
出典：新型コロナウイルスの影響トラッキング調査レポート（第11回調査 2021年6月26日）

GEM Partners

下位には「海外旅行」「競技場やパブリックビューイング会場でのオリンピック鑑賞」「県外の親戚との集まり」「ビアガーデン」などが並ぶ。

■ 今後（調査時点）の夏公開作品で鑑賞意欲度が高いのは、洋画では『ワイルド・スピード/ジェットブレイク』、邦画では『東京リベンジャーズ』『僕のヒーローアカデミア THE MOVIE ワールド ヒーローズ ミッション』。

各作品の劇場鑑賞意向（年間劇場鑑賞1本以上ベース）



出典：新型コロナウイルスの影響トラッキング調査レポート（第11回調査 2021年6月26日）

GEM Partners

秋以降公開作品では、アニメシリーズの劇場版『劇場版 呪術廻戦 0』が最も高い。そのほか、洋画では昨年公開延期していた『007/ノー・タイム・トゥ・ダイ』『トップガン マーヴェリック』、邦画では木村拓哉・長澤まさみ出演の『マスカレード・ナイト』への意欲が高い。

GEM Partners 株式会社は、エンタテインメント業界に向けたマーケティングデータ分析及びデジタルマーケティングサービスの提供を行っております。個別のご依頼などございましたら、下記のお問い合わせ先までご連絡をお願いいたします。

■ 調査概要

【レポート名】新型コロナウイルスの影響トラッキング調査レポート 第11回

【調査方法】インターネットアンケート

【調査対象】日本在住の15～69歳の男女

【調査実施日】2021年6月26日（土）～28日（月）

【回答者数】4,126人

【数値重みづけ】総務省発表の人口統計、弊社実施調査を参考に回答者を性年代・映画鑑賞頻度別に重みづけ

■ 会社概要

会社名：GEM Partners 株式会社

設立：2008年3月17日

代表取締役：梅津 文

事業内容：エンタテインメントビジネス領域で下記に関わる一切のこと

マーケティング戦略の立案と実行モニタリング

デジタルマーケティング実行

メディアの企画・運営

コーポレートサイト：<https://www.gempartners.com/>

GEM Standard：<https://gem-standard.com/>

■ 本件に関するお問い合わせ先

GEM Partners（ジェムパートナーズ）株式会社

担当：河西（かさい）

電話：03-6303-1346

メールアドレス：info@gempartners.com